



In collaboration with customer

**2019年3月期
決算説明会資料**

株式会社テリロジー



Securities code : 3356

2019年3月期実績

業績ハイライト	4
損益計算書	5

事業部門別実績

ネットワーク部門	6
セキュリティ部門	7
モニタリング部門	8
ソリューションサービス部門	9

2020年3月期業績予想

2020年3月期 業績予想	11
---------------	----

2020年3月期 ビジネス・アウトルック

2020年3月期 ビジネス・アウトルック	13
----------------------	----

(ご参考) 売上高・営業利益の推移	21
-------------------	----

2019年3月期実績

対前年同期比にて大幅な増収・増益

売上・受注 ・受注活動は堅調に推移したことから**売上高は増加**

売上高 : 3,660百万円 (13.6%増 438百万円増)
受注高 : 3,705百万円 (26.6%増 779百万円増)
受注残高 : 363百万円 (14.1%増 44百万円増)

(対前年比)

利益 ・増収効果により**利益は大幅に増加**

経費 : 販管費等※ : 1,446百万円 (29.9%増 333百万円増)

※売上原価「技術人件費」含む

営業利益 : 244百万円 (78百万円増、前期 166百万円)

経常利益 : 229百万円 (56百万円増、前期 173百万円)

当期純利益 : 207百万円 (53百万円増、前期 154百万円)

(対前年比)

財務 ・自己資本比率は前期末から**20.6pt向上し改善**

自己資本比率 : 2019年3月期 45.0% (2018年3月期 24.4%)

(ご参考) 自己資本 : 1,438百万円 (676百万円増、前期 762百万円)

(対前年比)

損益計算書

対前年比にて大幅な増収・増益

(単位：百万円)	2018年3月期	2019年3月期		
	金額	金額	増減額	増減率%
売上高	3,221	3,660	438	13.6%
売上総利益	1,024	1,403	378	37.0%
販売管理費	858	1,159	300	35.0%
営業利益	166	244	78	47.0%
経常利益	173	229	56	32.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	154	207	53	34.6%
為替レート（ドル）	110.86円	110.91円		
1株当たり当期純利益	10円02銭	13円45銭		
自己資本比率	24.4%	45.0%		

事業部門別実績 ネットワーク部門

国内大手製造業を中心にネットワークインフラ構築案件
受注活動は堅調に推移

増収

売上高：970百万円
対前年同期比：93百万円増、増減率：10.7%増

■トピックス

- ・ 当社グループ主要顧客大手製造業向け業務系ネットワーク/
制御系ネットワーク（IT/OT）の統合ネットワーク基盤整備
 - ▶ ユーザ管理システム（DHCPサーバなど）構築案件
 - ▶ クラウド型無線LANシステム構築案件
- ・ 国内大手通信事業者向け開発案件
 - ▶ 大手通信事業者コールセンター向けリモート障害対応サービス
支援システム構築案件

当社グループは、当連結累計期間から各部門別の事業区分を見直し、「ネットワーク部門」、「セキュリティ部門」、「モニタリング部門」、「ソリューションサービス部門」の4区分に変更しました。また、当社グループのストックビジネスである保守サービスは、事業実態に即した事業区分に組み入れています。これに伴い、前期の数値は、変更後の部門区分に組み替えた数値での比較です。

事業部門別実績 セキュリティ部門

企業向けサイバー攻撃対策、脆弱性診断サービス案件は堅調に推移。
サイバースレットインテリジェンスサービスは官公庁など正式採用

減収

売上高：1,245百万円
対前年同期比：265百万円減、増減率：17.6%減

■トピックス

- ・企業内ネットワークの脆弱性を可視化、分析、レポートの脆弱性診断サービス
 - ▶ケーブルテレビ事業者向け案件
- ・サイバー攻撃/不正アクセスによる情報漏えいなどの脅威が継続
 - ▶不正侵入防御セキュリティ/標的型攻撃対策クラウドサービス案件
- ・ダークネットから悪意ある情報を収集・分析・提供するサービス（サイバースレットインテリジェンスサービス）
 - ▶有償トライアルサービスの販売活動から官公庁、社会インフラ企業などで本サービスの正式採用を獲得

■前年同期比との差異理由

前年同期は、前々期からズレ込んだ大手金融機関インターネットバンキング向け不正取引防止対策のセキュリティシステム構築案件の売上を計上したため、売上高は増加。

事業部門別実績 モニタリング部門

当社独自パケットキャプチャ製品を中心に
ネットワークモニタリング分野での導入実績が増加

横ばい

売上高：590百万円

対前年同期比：4百万円減、増減率：0.8%減

■トピックス

- ・企業向けネットワークモニタリング案件を中心に受注活動が加速
 - ▶ 大手携帯通信事業者向けネットワークモニタリング案件
→ 当社グループ独自のパケットキャプチャ製品
 - ▶ 国内金融機関向けネットワークの性能モニタリング案件
→ ネットワークのアプリケーション性能管理製品
 - ▶ 独自サービスのITシステム運用監視クラウドサービス
→ 当社グループ主要顧客向け受注活動は概ね堅調に推移

訪日外国人旅行客の増加により「みえる通訳」の導入拡大。
究極的にカンタンなRPAツール「EzAvater」引き合い急増で受注獲得

堅調に推移

売上高：853百万円
前期は4ヶ月分のみ239百万円（614百万円増、増減率：257.1%増）

■トピックス

- ・ アジア全般からの訪日外国人旅行客の増加により
リアルタイム映像通訳サービス「みえる通訳」の導入拡大
 - ▶ 全国展開大手流通グループ・小売・サービス事業者など契約数は堅調に推移
- ・ 法人向けクラウド管理型マネージドVPNサービス
 - ▶ 新規顧客の契約数が増加するなど概ね堅調に推移
- ・ 7月から販売を開始した自社開発のカンタンRPA「EzAvater」好調
 - ▶ 生産性の向上、業務の効率化など働き方改革を背景に引き合い急増で受注獲得

2020年3月期 業績予想

2020年3月期 業績予想

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想		
	金額	金額	増減額	増減率%
売上高	3,660	4,130	469	12.8%
売上総利益	1,403	1,497	93	6.7%
販売管理費	1,159	1,217	57	5.0%
営業利益	244	280	35	14.7%
経常利益	229	260	30	13.2%
当期純利益	207	180	△27	△13.2%
為替レート (ドル)	110.91円	115.00円		
1株当たり当期純利益	13円45銭	11円11銭		

2020年3月期 ビジネス・アウトルック

売上高**50億円**を目指すための エクストラ事業戦略

1 M&A・事業アライアンス戦略の積極対応による事業拡大

2 インバウンド・ソリューション事業の協業の加速化

3 先端技術ソーシング連携戦略の強化（米国、イスラエル）
による新商材の追加市場投入

財務体質の強化実行を梃子に儲かる営業資産づくりへ

M&A・事業アライアンス戦略に関する基本的な考え方

基本的な考え方

- 人材(営業・開発力)を買う
- 顧客基盤を買う
- 時間を買う
- 売上・利益を買う
- 未来の相乗効果を買う

投資規模感イメージ

- 投資予算規模：約10億円
1案件 3億円～5億円
- 獲得年商規模
1案件 年商5億円～10億円
- 支配権確保ベースの資本提携、
戦略業務提携の加速

対象分野

- IT技術・専門商社
- セキュリティ領域
- インバウンド領域
- 都市型コールセンター
- アジア新興国IT販社

インバウンド・ソリューション事業の協業の加速化

インバウンド事業機会



① 多言語対応でのサービス多様化の促進

- 対応言語の多様化（新興アジア系）
- マルチ自動通訳機の投入
- 定住外国人向けサービス提供商品の開発

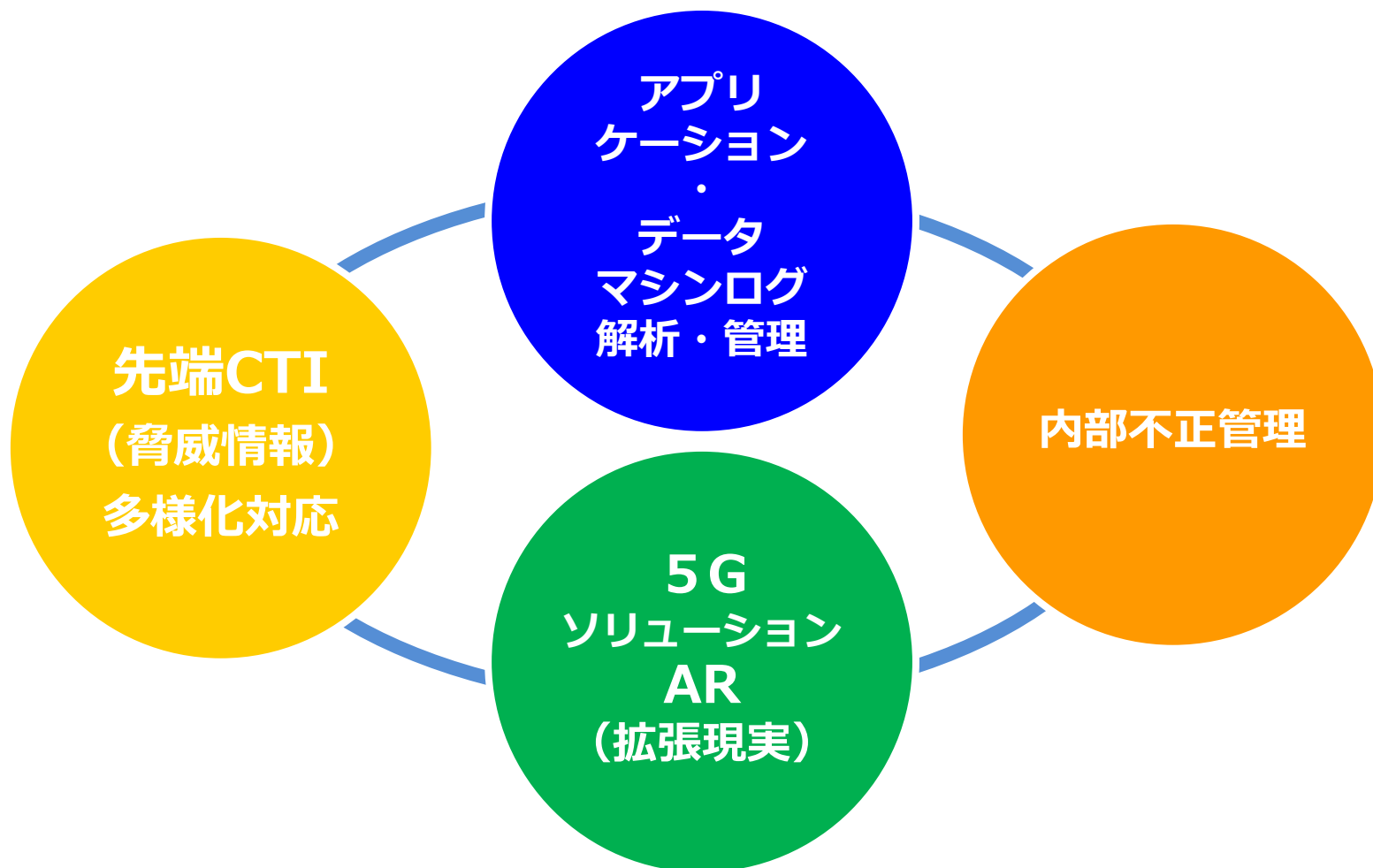
② 多言語映像通訳分野での合従連衡の推進

- 多言語コールセンターの共有化
- サービス提供事業連携
- M&A、資本提携の模索・促進

③ 他インバウンド事業者との事業連携

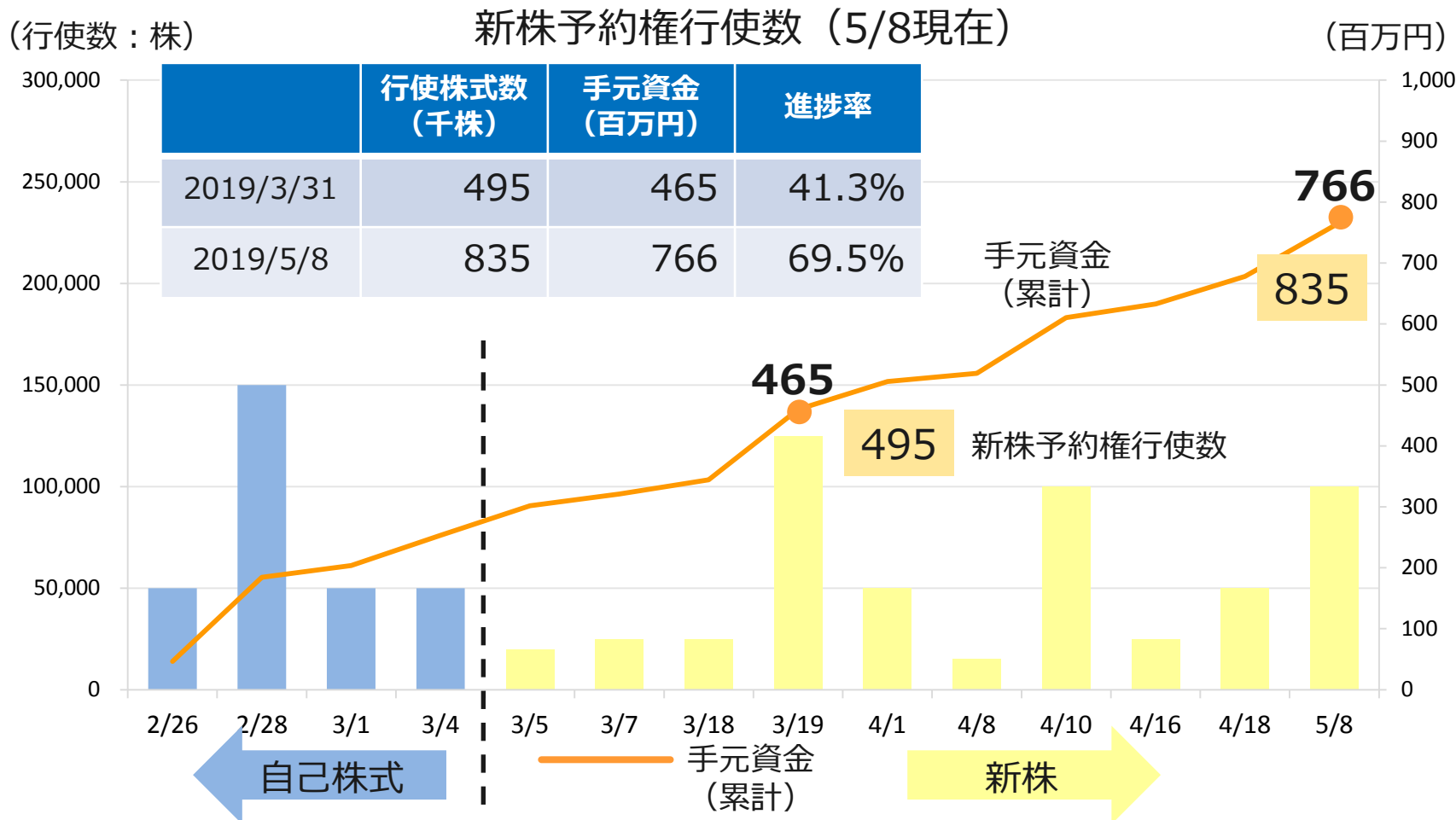
- インバウンド新事業機会の創出、立ち上げ
- 合併会社の新規設立構想(検討)

先端技術ソーシング連携戦略の強化（米国、イスラエル） による新商材の追加市場投入



財務体質の強化実行を梃子に儲かる営業資産つくりへ 新株予約権行使数及び手元資金増加額状況について

＜新株予約権行使数及び手元資金増加額状況＞



財務体質の強化実行を梃子に儲かる営業資産づくりへ その他資本剰余金の一部振替えによる損失の解消について

今後の資本政策の機動性を確保するため、その他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振替え、繰越損失の補填に充当し損失解消。

■貸借対照表（一部）

（単位：円）

	2019年3月31日現在	2019年5月23日現在
（純資産の部）		
株主資本	1,380,658	1,380,658
資本金	1,273,921	1,273,921
資本剰余金	724,752	106,772
資本準備金	91,316	91,316
その他資本準備金	633,435	15,456
利益剰余金	△ 617,978	0
その他利益剰余金	△ 617,978	0
繰越利益剰余金	△ 617,978	0
自己株式	△ 36	△ 36
評価・換算差額等	5,516	5,516
繰延ヘッジ損益	5,516	5,516
新株予約権	2,354	2,354
純資産合計	1,388,530	1,388,530

617,978



配当性向“50%以上”を目標に復配へ

<配当政策の基本方針>

当社は、株主尊重を経営戦略の重要課題と認識し収益性、安全性の確保に努め、業績に基づいた配当を実施することにより株主への利益還元に取り組んで行く方針であります。

一方、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保も株主各位の利益確保に必要不可欠であると認識しております。

なお、剰余金の配当につきましては、配当性向50%以上を目標としてまいります。

配当方針 目標：配当性向50%以上

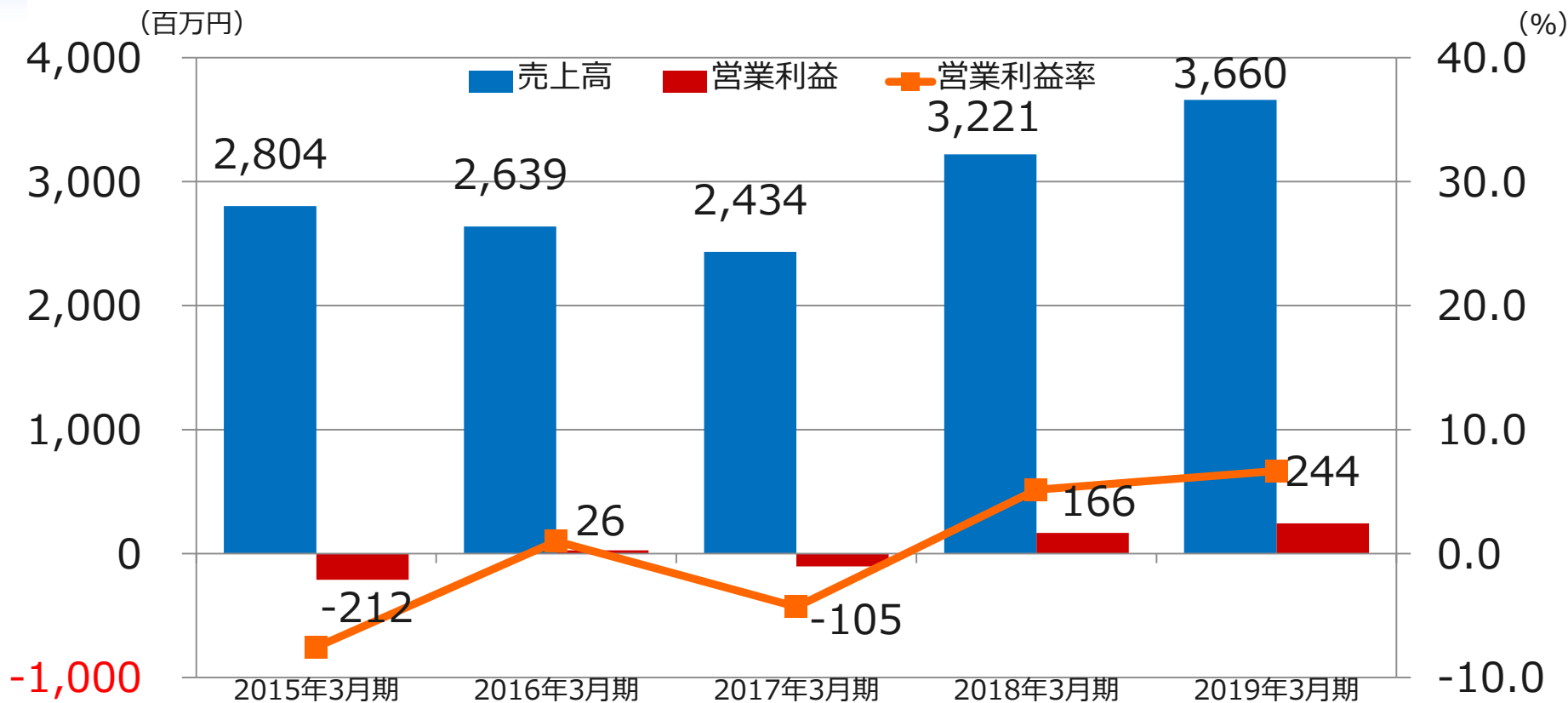
■ 2020年3月期 期末配当予想

2019年5月30日公表

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2019年5月10日公表)	0円00銭	0円00銭	0円00銭
今 回 修 正 予 想	0円00銭	5円00銭	5円00銭
前 期 実 績 (2019年3月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

質疑・応答

ご参考 売上高・営業利益の推移（最近5カ年）



決算期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
売上高	2,804百万円	2,639百万円	2,434百万円	3,221百万円	3,660百万円
営業利益	△212百万円	26百万円	△105百万円	166百万円	244百万円
営業利益率	-7.5%	1.0%	-4.3%	5.1%	6.6%



[免責事項]

- 本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いします。
- 本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーは責任を負うものではありません。
- また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。

【お問い合わせ先】

広報宣伝・IR担当 齋藤
TEL:03-5213-5533 FAX:03-5213-5532
E-mail : ir@terilogy.com